

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111【代表】

人口

— 9月30日現在 —

9,149人 男...4,454人 女...4,695人
 世帯数..... 2,590
 転入 27 出生 11
 転出 26 死亡 8



手作りの町民音楽祭

高森町民音楽祭が4日高森小体育館で開かれました。今年で7回を迎え企画から実行まで文字どおり手作りの音楽祭、幼稚園児から80歳のお年寄りまで約200人が出演しました。高森幼稚園のかわいいコーラスでスタート、高森中は新しく制定された「高森町歌」を披露しました。お楽しみコーナーでは柳沢真一さんがジャズのスタンダードナンバーを歌い約600人の聴衆を魅了しました。

第291号 11月
 昭和58年

おもな内容

- 火災に注意しよう (秋の火災予防運動).....(2)
- 赤字バス路線廃止へ.....(3)
- 私たちの国民年金制度.....(4)
- 狩猟事故をなくそう.....(5)
- 高森中全校生徒でクリーン作戦.....(6)
- 高森百景.....(7)
- みんなの広場.....(9)

火車・救急車は ①119へ	12月4日	11月27日	11月23日	11月20日	11月13日	11月6日	休 在日 宅医 診療は午前9時から午後5時まで
	富寺	富東	富馬	富平	富小	富上	
	②崎	②医	②原	②田	②林	⑤村	
	03医	03医	06医	00医	00医	03医	
	7院	0院	4院	2院	7院	3院	
	8院	9院	6院	6院	5院	6院	

俳句

稲荷堂木屑の花散り敷きて
 思い出は過去につながら栗拾ふ
 湯の町を過ぎて峠の花すすき
 スケッチに出て銀杏を拾い来る
 日のぬくみ俱に包みて柿送る
 夜長の灯こまめに消して家を守る
 紅白に兄弟わかれ運動会
 夕膳にしぶとき秋蚊まといけり
 肌寒をかこちながらの立話
 秋雲の流れに心追いつかず
 退院の一路むくげも咲き細り
 秋桜咲きし我が家に旅装とく
 五坪程小豆の実りうれしくて
 鈴虫の声にゆだねる病む心
 薄紅葉軽く濡らして通り雨
 爽やかなきびの葉づれの集秋
 名月や昇りてかかる松が枝に
 秋日和人の目を引く野花かな
 いとし娘の嫁ぐ日せまる秋の風
 日短になりましたなど店主人

肥後狂句

駄目親父 媽にベンザンおっ取られ
 芋田楽 馬鐵ン子立てた如たる串

山村 純女
 熊谷こう女
 弥永 藤子
 内田 文子
 松岡 信子
 桐原 寿
 林 久恵
 柴田ふい子
 古庄 泰子
 平田るり子
 山村ふみ子
 後藤 法龍
 阿部タツエ
 後藤やよい
 本田 訓子
 森 正六
 白石 政憲
 後藤 政憲
 森 政隆
 後藤 春嵐
 篠田 凡才

町民文芸

反対 血圧上ぐる塩加減
 ブラブラ 減らん遺産に苦勞する
 駄目親父 弟子の方から暇の出る
 赤字線 郷土の過疎にけしかくる
 赤字線 アイデア列車走らする
 ブラブラ 退職したら日の長ア
 芋田楽 昔懐し開戸裏端
 枯すすき お化け屋敷イ買取られ
 赤字線 過疎の歯止めに残さんか
 ブラブラ ストする時ア張り切るが
 芋田楽 根子の紅葉とカッポ酒
 反対 一言居士の晴舞台
 赤字線 庶民の声も聞くがええ
 枯すすき もう赤坂も緑遠エ
 反対 むごう棟上げとちらかし
 反対 綺麗な海で残し度ア
 ブラブラ 俺も美容師置おうか
 駄目親父 いつも付け馬引いとらす
 枯すすき ヘルパーが目の離されん

おめでたおくやみ

S58. 9.16~10. 5 受付

出生	(住所)	(保護者)	(出生児)(性別)	(出生日)
天神	後藤	秀希	秀 司 男	9.14
旭通	中村	稔	友 紀 女	9.15
昭	河崎今朝	俊	江梨奈 女	9.28
昭	中村	卓也	惠 輝 男	9.9
森	秋山	高士	翼 男	9.11
津留	本田	波子	オリビア 女	9.9
津留	津留	秀守	太 志 男	9.26
津留	津留	秀守	太 志 男	9.26
永野原	西田	忠洋	薰 里 女	9.17
津留1	甲斐	新也	憲 吾 男	9.30

死亡	(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡日)
上在	荒牧ツナエ	夫	荒牧 圓仁	83	9.26	
旭通	宮本 正義	長男	宮熊 充	0	9.17	
昭和	岩下ヒサ子	夫	岩下 直由	50	10.14	
西中原	田上 成文	妻	田上サツキ	51	9.28	

結婚	(氏名)	(住所)	(婚姻届年月日)
(夫妻)	田上 克博 (上村) 幸子	高森 村山 上在	S58. 9.18
(夫妻)	鹿子木隆文 (大塚) 孝代	高森 旭通 旭通	10. 8
(夫妻)	野尻 広幸 (淵上) 貴子	高森 上在 山鹿市	10.13

浦塚 南天
 岡本 琴司
 林田 一声
 山村 不覚
 松野 笑声
 田上黙公子
 馬原 馬笑
 二子石探訪
 林 不忘
 石田 詩朗

ありがとうございます
 (一) (寄) (付)
 ◎町社会福祉協議会
 ▲香典返しにかえて
 ▼高森上在の荒牧ツナエさんから (夫、圓仁さん・83歳死去)
 ▼河原の後藤チエさんから (夫、敏士さん・66歳死去)
 ▲近火見舞の返礼にかえて
 ▼高森森の藤本正一さん、和田久子さんから
 ◎老人クラブ
 ▼芹口の草村利美さん・林一敬さんから「ことぶき会」へ金一封
 ▼高森昭和の杉田弘さんご夫妻から「昭和会」へ金一封
 ▼芹口の田上富士男さんから菅之迫・男原の老人クラブへ金一封

国鉄高森線を利用しましょう

防火点検の励行を

たばこ投げ捨ては禁物

秋の予防運動
11/26~12/2

火災に注意しよう



十一月二十六日(土)から十二月二日(金)までの一週間、「秋の火

暦の上では早や十二月。これからが寒さは本格的になります。また、火を扱う機会が多くなりますので、今後火災には特に注意が肝心。火災シーズンに備えて「防火の点検」「消火の備え」「避難は早めに」の三点はいつもの掛け声ですが、実際家庭ではこれが励行されているでしょうか。ささいな不注意が大事を起こします。もう一度、家庭内の足元をみてみましょう。

十一月二十六日(土)から十二月二日(金)までの一週間、「秋の火

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、みなさん一人ひとりに対し、火災予防思想の一層の普及を図ることによって、火災の発生を防止し、悲惨な焼死事故や貴重な財産の損失を防止することを目的とするものです。

昭和五十七年中の火災による死者のうち、体の不自由な人や老人幼児などの自力避難が困難な人が多数含まれており、この傾向は毎年続いています。また、近年住宅火災が増加する傾向にあり、多数の人が出入りする旅館、病院、百貨店などにおいては、火災が発生した場合、多大な人命危険が予想されることなどから、次のことに留意しましょう。

- 家庭では
 - 体の不自由な人や老人、幼児だけを残して外出しない。
 - ストープ、コンロなどの燃焼機器を点検整備し、正しく使用する。
 - 外出時や寝る前には、必ず、火気、電気の点検を行う。
 - 火事が起きた場合に備えて、消防機関への通報、初期消火、避難訓練などを行っておく、また、初期消火に備えて、消火器、水バケツなどの消火用具を準備しておく。
- 屋外では
 - たばこの吸いがらの投げ捨ては絶対しない。
 - たき火をしたり、ゴミを焼却するときは、水バケツなどの消火用具を必ず準備し、火が消えるまで監視を怠らない。

交通安全功労者表彰式で

田代、後藤さん受表彰



田代さん 長連盟表彰
交通安全協会
長・九州交
管区警察局
見前原の後藤さん 藤芳愛さん(五七)が優良運転者として緑十字銅章をそれぞれ受章されました。

交通安全功労者ならびに優良運転者表彰式が九月三十日県庁大会議室で行われ、本町関係では、高森昭和の田代新祐さん(五七)が九州管区警察局長連盟表彰、また色見前原の後藤さん(五七)が優良運転者として緑十字銅章をそれぞれ受章されました。

交通安全功労者として表彰された田代さんは、現在、阿蘇南部地区交通安全協会副会長と同地区自家用自動車協会会長を兼務。常に先頭に立って両協会の活動を推進してこられました。

一方、優良運転者として日本交通安全協会から緑十字銅章を受章された後藤さんは、昭和三十七年に免許取得以来、今日まで二十一年間におたる無事故無違反の模範運転者。長年、交通安全協会上色見支部長の座にあり、地域の交通安全を推進されています。

みんなの広場



健寿大学に学んで

上色見東中原 荒牧 綾子



昨年にも健寿大学が開講されることになり、心躍らせて受講の手続きをしました。

健寿大学とは、高森町に住む老人を対象にした勉強会で、この度は三十二名が受講されます。津留草部地区でも開かれるそうです。開講式で、教育委員会から「雲の流れ日の光、風の音にも秋の気配を感じるこの日、皆様にはいつまでも若々しく、又、若い人に負けないよう頭の訓練をして、心も身体も健全な老後を通してください。」とあいさつがありました。

含蔵寺の和尚からは、三学の戒めとして「小にして学べば壮にして成すあり、壮にして学べば老いて衰えず、老にして学べば死しても朽ちず。」と大変含蓄のある言葉をお聞きしました。私共老人も死ぬまで勉強をして若い人のお荷物にならないようにして、世の中の役に立ちたいと思います。



自衛隊に入隊して半年が過ぎました。今でもよく思い出するのは入隊当初の頃です。初めのうちは見るもの、聞くものにすこく戸惑いを感じ、また、毎日の訓練も思ったより厳しいものでした。しか

自衛隊入隊所感

大野野尻出身 阿南 幸吉

しそこで九州各地の百五十名余りの同期生と出逢い、そして苦しい高のことです。みんなでの一つの目標に向かって努力し、それを達成できたときの喜びは、これから先忘れることはないでしょう。今後は更に努力してください。原稿のあて先は、役場企画課広報統計係です。紙上だけ匿名扱いできます。

係からのお願い

活などを想像すると一段と郷土に愛着がわきます。高森という地名は、高根切の高と森殿の森を取って高森と名付けたのではなからうか、津留というは、日の当たる所の意味だそうです。高森阿蘇神社のいわれや、村山祖母神社の伝説など詳しく面白くお聞きしました。

第二回は、東医院院長の「高齢者の健康について」という話でした。常に何か趣味を持ちながら、頭と体を使うことが一番大切であり、食事についても、コレステロールを下げる植物油(米ぬか油)などをたっぷり取ること、豆腐・豆類、魚類なども平均的に食べる

こと、肉は週二回、卵は四回、魚は五回、カルシウム(いりこ、小魚)が必要で、たばこは絶対に吸わないことなど老人に必要な話でした。これを日常生活に役立たせようと思えます。新聞や雑誌とはまた違った意味での話もあり、非常に有意義でした。

この後の三回から七回まで出席し、消防団を退団された次の四十六人の方々から消防団基金に金一封をご寄付いただきました。

町の消防団 基金に寄付

46人の退団者

- 岩下利晴、橋本野孝一、大村今朝徳、赤星武博、白石民生、福永紘喜、相馬俊行、林今朝一、住吉寿良、本田重則、荒牧伸一、古澤信幸、栗焼安一、児玉国広、後藤暎喜、白石巖、本田国光、住吉早雄、島田史郎、後藤初男、渡辺哲郎、加来渡、吉良山一昭、工藤進二、住吉只二、甲斐康利、二子石文雄、後藤治人、荒牧七藏、後藤松男、後藤孝市、佐伯実範、住吉和也、田上美男、井廣文、工藤武雄、工藤安夫、阿南平一郎、白石照人、後藤隆二、甲斐義教、山内一人、村上栄一

近火見舞のお礼

十月一日の隣家の火災に際しましては、皆様が大変ご心配をおかけしましたが、消防関係の方々の献身的な消火作業によりまして延焼を免れることができました。深く感謝申し上げます。

- そのうえ、各方面からたくさんのお見舞いまでいただきありがとうございました。実は早
- なご、お見舞の返礼にかせて町社会福祉協議会へ金一封を寄付させていただきます。
- 高森 藤本 正一
和田 久子

お知らせのページ

県内の最低賃金 二、九五二円に

熊本労働基準局では、昭和五十八年の熊本県内の最低賃金を日額二千九百五十一円(時間額三百六十九円)に改定し、十月七日より適用することになりました。

使用者は、この最低賃金額より低い賃金で労働者を使用することはできません。

なお時間額はパートタイムなど時間給労働者に適用されず。詳しいことは、熊本労働基準局または、最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

林業振動障害 特殊健診を実施

林業災害防止協会では、次のとおり林業振動障害特殊健康診断を行います。

■健診の対象 ▽振動機械(チェーンソー、刈払機)の使用経験年数が七年以上で、過去を通じ年間使用日数がおおむね三十日以上の人。▽過去に受診し、その結果がB及びCと判定されたか、Aであってもその後自覚症状のある人。

■健診日時 十一月十八日 午前九時から午後五時まで

■健診場所 県事務所三階会議室

■費用 二千円程度

※問い合わせ、申し込みは、役場産業観光課へ

職業訓練生募集 高千穂訓練校

宮崎県立高千穂高等職業訓練校では、次のとおり五十九年度の訓練生を募集します。

【募集定員】▽建築科三十人▽電気工事科三十人

【訓練期間】一年

【受験資格】義務教育終了以上の学力を有する健康な人

【願書受付期間】五十八年十二月十日～五十九年二月六日

【試験科目】国語、数学、理科、社会、面接、適正検査

詳しくは、高千穂高等職業訓練校(☎098271-2320)にお問い合わせください。

入園児を募集 高森幼稚園

高森幼稚園では、五十九年度の入園児を募集しています。募集の

内訳は三歳児二十人、四歳児二十五人、五歳児三十五人の計八十人です。町民税の課税額によって就園奨励補助があります。

入園ご希望の方は、高森幼稚園(☎0094)へ直接お申し込みください。定員になり次第締め切られます。

今月の支払日

(内)日(金)
7月15日
7月25日

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時まで。

59年度の青年海外協力隊員募集

国際協力事業団九州支部と熊本県では、五十九年度第一次・第二次の青年海外協力隊員を次の要領で募集します。

- 応募資格 技術・技能を有し、実務経験のある人で二十歳から三十五歳までの青年男女(日本国籍を有する者に限る。)
- 応募期間 十月十五日から十一月三十日まで

中小企業のための 設備貸与制度

財団法人・熊本県中小企業振興公社では設備貸与の申し込みを受け付けています。設備貸与制度とは、中小企業(製造業、小売業、卸売業、サービス業など)の設備の近代化、合理化を図るため、企業者から申し込みのあった機械設備を公社で購入し、長期低利の月賦償還によって企業者に譲渡するものです。

- 貸与限度額 一企業二十万円以上二十万円まで
- 貸与(償還)期間 四年六ヵ月
- 貸与損料(金利) 貸与残高に對し年五割
- 保証金 貸与額の十割

※申込書は商工会にあります。

公民館 だより

図書館を開放します

中央公民館では十一月一日から図書室を一般に開放します。

▽開放時間 平日午前九時～午後四時、土曜日前九時～正午

▽貸し出し日数 二週間

▽冊数 一人三冊まで

日曜、休日は休みます。お気軽にご利用下さい。

高森町民俗無形文化財を公開

町、町教育委員会、文化協会では次のとおり民俗無形文化財を公開します。

◆日時 十一月二十六日(土)午後一時から

- ◆会場 高森小学校体育館
- ◆出演団体 ▽峰の宿パンパ踊り(県指定) ▽尾下菅原神社獅子舞(県指定) ▽高森阿蘇神社神楽(町指定) ▽草部吉見神社神楽(町指定) ▽高森阿蘇神社鎮魂太鼓(町指定) ▽長陽村長野神楽(交渉中)

読書感想文をお寄せください

町教育委員会では、読書感想文コンクールを実施中です。

応募資格は町内に居住している小学生から一般社会人。内容は自由ですが、未発表の作品に限りです。応募締切りは十二月二十日。詳細は教育委員会へ。

林業総合セン ターに舞台幕

旭化成が寄贈

高森町林業総合センター大会議室に、このほど舞台幕(どんちゃん)が取り付けられました。新庁舎完成を祝って延岡市の旭化成工業株式会社から寄贈いただいたもので、製作に約三ヵ月かかりました。

贈られた舞台幕は高さ三・七メートル、幅五メートル。旭化成の舞台幕布地を使ったもので、ベージュ系のカラーを基調に、正面に根子岳の図柄、右上に町章を刺しゅう、豪華なものとなっています。開閉はボタン操作による電動式。

二階大会議室はアトラクション付きの会議や結婚式によく使われており、新調の舞台幕はこんご利用される方々に喜ばれそうです。

石油ストーブの取扱いは…

冬期を迎え、ストーブなど暖房器具を使用する機会が多くなります。ストーブは、居室などで使用されるため、周囲にカーテンなどの燃えやすいものが多いことから、出火するとそのまま燃え広がる危険性があります。

昭和五十六年中のストーブによる火災は二千七百八十件発生し、過去最高となっています。

周囲は整理整頓し 可燃物とは一定の距離を

火災が最も多く、二千二十件発生したストーブによる火災全体の七二・七%を占めています。

そこで、石油ストーブによる火災を防ぐために、次の注意事項

いわれます。

積極的な利用で存続を

「高森―洗川」「高森―多々野」

赤字バス路線廃止へ

国鉄高森線の廃止問題に続き、今度は産交バスの「高森―多々野」「高森―洗川」の二路線が廃止になるうとしています。私たちの「生活路線」「住民の足」として親しまれてきた交通機関だけに、みなさんの積極的な利用で路線存続を図っていただきたいのです。

九州産業交通による「高森―多々野」「高森―洗川」の二路線が

開通されて以来、通勤、通学など町民の欠かせない足として定着してきました。しかし、高度成長に伴うモータリゼーションの急速な進展や人口の過疎化などで、四十五年を境に利用客は毎年減少の一途をたどり赤字は急速に増大(五十七年度の経常収支は二路線合わせて三千四百三十一万円のマイナス)、運行維持が困難になったと

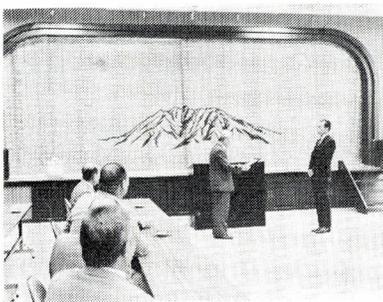
村、国、県の補助金を受けて、貸切りバス会社が従来のバス路線を運行させるもの。五十八年度から政府が不採算路線バス対策として打ち出した制度で、九州産業交通は七月から関係町村と協議に入っていました。

本町の場合、二路線が廃止となれば当面地域住民の足の確保が出来ないと立場から当該路線を

廃止代替バスで運行することになっています。

このようなバス路線は、私たちの生活に大きな影響を与える問題だけに、沿線住民挙げての強力な利用運動を展開する必要があります。もし、代替貸切りバスの利用が少なく、これも廃止になったとしたら――。考えてください。長年の間、私たちの生活はローカルバスを基礎にして営まれてきました。直接利用しなくても必ず思い当たることがあるはずですよ。

地区の寄り合いのときに、隣近所の寄り合いのときに、ローカルバスの大切さを話し合っていたらいいと思います。そして、みんなできる限り利用されるようお願いいたします。



舞台幕の寄贈式

私たちの国民年金制度 暮らしの中で大きく役立つ

国民年金は、厚生年金など職場の年金の対象となっていない農業商業などの自営業・サービスマンに従事している人とその家族を対象にする年金制度です。お年寄りになったときの老齢年金のほか、思いがけない事故などで、障害者や母子家庭などになったときにも、年金を支給して生活の安定を図ろうとするもので、私達のくらしと切り離せない制度となっています。

現在、高森町で国民年金に加入している人は約三千三百人、国民年金の支給を受けている人は約千六百人で、年金総額は年間五億円に達しており、町民の福祉の向上に大きく貢献しています。

この国民年金の加入者と受給者の数を町人口の割合で見ますと、二十歳から五十九歳までの人の三・六人に一人は国民年金に加入し、また六十歳以上のお年寄りの一・八人に一人は国民年金を受けていることになります。

みなさんが納められた保険料は

年金積立金還元融資として、保育所、公民館、老人ホームの建設など私達の暮らしの中に大きく役立つています。

社会の高齢化が進むなか、私達の生活の中に占める国民年金の役割はますます大きくなっていきます。

若い世代も、高齢者の世代も、お互いの世をよく理解し合い、みんなで大きく国民年金を育てましょう。

荒牧さんら全員が名誉賞獲得

県畜産まつり

県畜産振興会（県、県畜産農協連など七団体）主催の第三回県畜産まつりが、十月十九日、二十日の両日菊池郡七城町の県畜産流通センター一帯で開かれ、これに南阿蘇畜協を代表して参加した上色見前原の荒牧さんら本町の四農家がそれぞれの部門で名誉賞を獲得しました。

この畜産まつりは、県内の家畜の改良促進、畜産の経営安定、自給飼料の増産などをめざし、四年に一度開かれていたもので、県下の畜産農家にとっては、いわば「畜産のオリシピック」ともいえるべきもの。今回は乳牛、肉牛の参加が大幅に増え、前回に比べると

談話室

ブラジルから53年ぶりに里帰りされた

荒牧イツさん

日本政府の招待。昭和六年、二十二歳のとき白



「想像以上に変わっているのにびっくりしました。道路は隅々まで舗装されて良くなっていて、峠から見た町並みも、昔は黒かった屋根の色もずいぶんカラフルになっていました。それに家が増えて町が大きくなりましたね。」

本町出身の荒牧イツさん（旧姓佐藤、七五歳）が五十三年ぶりにブラジルから里帰りされました。今回の里帰りは、移住五十年以上の人を対象にした

水村出身の御主人とブラジル北部のアカラに入植。約三十五分の密林を開墾しながら、電気も無い所で文字どおり自給自足の

厳しい生活が続きました。その後マラリヤが流行したため現在住んでおられるマラニオン州サンルイス市に移り、主に現地の人が作らない野菜を栽培しました。

九年前ご主人が亡くなられてからは農業をやめ、政府の役人をされている息子さんと暮らしておられます。一男四女の子供さんと十五人のお孫さんとの会話は、日本語が全く通じないため、もっぱらポルトガル語です。里帰りされたからは、弟の大字高森横町、佐藤徹さん宅に滞在在中で、五十三年ぶりの友達、きょうだいとの再会に感激されていました。

（天日乾燥）で名誉賞を受賞するなど全員が高成績を収めました。

学校に手縫いの雑巾を寄贈
旭通り老人クラブ

「学校の清掃に使ってください」と、旭通りの老人クラブ「あさひ会」（瀬井広会長、五十三人）は、このほど高森小学校に手縫いのぞうきんを寄贈されました。このぞうきんの寄贈は、毎年夏

休み後の恒例行事。七、八年前、教室に使うぞうきんがかなり汚れてポロポロになっていることを知って、少しでも役に立てばと、自分たちの手でぞうきんを作ることにしたもので、今年はお年寄り一人当たり二枚、全体で約百五十枚を縫い上げました。

寄贈を受けた学校側では「最近の清掃はモップが主体になってきましたが、それでも廊下のすみずみや机、椅子をふくにはぞうきんが一番。吸水性に富んだ布地が少なくなくてきているときだけに助かります」と感謝していました。

高森百景

<23>

落川

落川は、高森町大字尾下の牧戸部落西方約一キロの県道津留一小池野線沿い、大畑道の分岐点付近の字名で、土地の人達は「おてがわ」と呼んでいます。百刈方面から大畑方面からの堀川（水無し川）の落ち合う場所、高さ五層程の滝の相をなし、その上下の岩間より清水が

興味ある長者畑の伝説

湧き出て牧戸川の水源となっています。

この滝の北西側に長者畑と称する畑があります。ここは遠い昔落川長者が住んでいた屋敷跡と言ひ伝えられています。その者の氏素性など詳しいことは分かっていません。長者と呼ばれるからには相当の財産を持っているに違いありません。地元の人々に語り継がれている歌の文句は次のとおりです。

間にか姿を消してしまつたといひます。

南阿蘇史談会員の熊谷乾氏は昭和三十八年春の頃、落川長者畑の周辺を調査したところ、縄文後

のもとに 七つ七瓶 七並び 後の世のため人のため 知らせておくぞよ 白藤のもと その七つのかめにはいったいどの様な財産が納められていたのか興味を尽きないところ。明治の中頃宝探しが行われたようですが、発見された話はだれも聞いていないとのこと。また、歌にいう白藤のそれかどうかわかりませんが、落川の滝上には樹木に絡まる白藤の花房が見られましたが、いつの

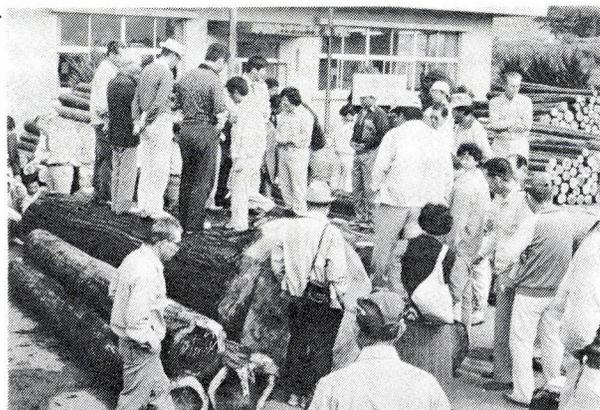


岩間からの清水が滝になる落川

内田秀憲

優良材の特別市開く

高森町森林組合
特産のナンゴウヒも出荷



優良材が集まった森林組合の特別市

高森町森林組合（森正六組合長）の優良材特別市が十月十四日同組合の共販所で開かれました。住宅建築の低迷などにより、不況感から脱し切れない林業農家ですが、それでもこの日は六百八立方材のナギ、ヒノキなどの優良材の原木が出荷されました。

午前十時から始まったセリには、県内外から約三十人の業者がかけつけ、威勢のいいセリ声とともに次々にセリ落していました。注目された樹齢二百五十年のメアサスギは一本四十三万五千円（立

方材当り二十二万八千円）の最高価格でセリ落とされました。この日取り引きされたのは五百七立方材、平均価格は三万千円でした。特産のナンゴウヒは出荷量は少なかつたものの、幹がまっすぐ伸びている、年輪が均当でかたいなど材質が優れていることで近年人気が高まっています。このところ県外からの引き合いも増えており、遠くは茨城県まで出荷されています。同組合では現在このナンゴウヒの植林に力を入れており、将来は特産品として町の林業の核にした計画です。

生活の知恵

領収書の保管期間

効力がなくなるまで 大切に保管しよう

領収書は金銭の支払い、品物の受け渡しなどの証拠となるものです。借金を返すときや代金を支払うときは、必ず領収書を受け取り大切に保管しましょう。

支払うものについては、二重払いなどを防ぐことができます。また品物に欠陥があつて返品したいときや、買った品物が送られてこないときなどにも役立ちます。さらに、税金の申告に欠かせないので

領収書で、必要経費の証明になります。保管期間は、次の種類で違う▽
●代金の種類で違う▽
領収書は、代金の支払い、義務がなくなるまで保管しておくべきです。領収書をいつまでとっておくかは、支払い代金の種類によって違います。
主な領収書の保管期間は、次のとおりです。
●一年間▽飲食代、宿泊料、タクシー代、旅客や貨物の運賃、大工左官の手間賃など
●二年間▽電気・ガス料金、クリ



大切な領収書です。きちんと整理し、保管しておきたいもの。もし、なくしてしまったときは、できるだけ再発行してもらいましょう。

代金など
●三年間▽医療費、建築工事費など
●五年間▽国税・地方税、水道料金などの公共料金、地代、家賃、利息、月賦代金、商売上の貸借金など
ただし、国民年金保険料の領収書は、年金を受け取るまで必要です。



狩猟事故なくそう

安全第一の心構えが大切

十一月十五日から狩猟が解禁されますが、その主旨はあくまで農林業に有害な鳥や獣を駆除するため国が認め、法的に許されているものです。しかし、近年は違法な行為があつたと絶えず、また心ない人たちによって農作物が荒されるケースが目立っています。狩猟解禁を機にいま一度尊守事項とマナーについてふれてみました。

過去三年間に起きた
県内の狩猟期の事故は
五十五年・二件(軽傷
二名)、五十六年・三
件(重傷二名、軽傷一
名)、五十七年・三件(重傷三
名)となつています。
猟銃を発射するときに、同行者
の位置や、前方をよく確認せずに
発射したことなどが事故の主な原

因としてあげられます
このような
事故は、ハ
ンターとし
て当然守る
べき基本的
なマナーさ
え守っていれば未然に防止でき
た、全く初歩的なミスによるもの
です。
狩猟される方は、猟銃の危険性
をじゅうぶん念頭におきながら、
次の事項を守り、今年こそ事故の
ない楽しい狩猟を過ごしましょ
う。

☆狩猟に出かける前の注意
▽銃の点検を行い、本当に安全か
どうかを確める。
☆猟場での注意
▽獲物を撃つ直前までは、銃に弾
をこめない。
▽周囲の安全を確認し、獲物をよ
く確かめてから発射する。
▽同行者がいるときは、常に同行
者の位置を確かめ合う。
▽コジュケイのように低く飛ぶ鳥
を撃つ場合は、水平撃ちになら
ないよう特に注意する。
▽猟場を移動するときや、足場の
悪いところでは、銃から弾を抜
いて携帯する。
☆狩猟を終わってからの注意
▽猟を終ったら、その場で弾を抜
き、帰宅するときは、銃におお
いをかぶせるか容器に入れて運
搬、携帯する。
▽帰宅したら、まず銃と弾を保管
庫に確実に保管する。

私達の町をきれいに

高森中 全校生徒で ミクリーン作戦



町に出てチリ拾いをする高森中の生徒

高森中学校（桐原義尚校長）の全校生徒二百二十一人が十月七日ボランティア活動で町内の大掃除をしました。

この大掃除は生徒会が自主的に計画し、金曜日の五、六時限目の「創意の時間」を利用して行ったものです。高森駅、交通公園、産交バスターミナルなどが多く集まる場所を中心に、町内のいたる所で、竹ぼうきやビニール袋を持った生徒達が、紙くずや落ち葉を掃き集めたり、空カン空ビンを拾いました。学校に持ち帰った空カンは二トントラック一台分。生徒達は、うず高く積まれた空カンの山に、不心得な投げ捨てが多いの

にビックリしていました。

学校では、「今回の体験を通じ

て、捨てない、汚さないという美化意識が生徒の間に高まれば良いのですが。今後も学期ごとに一回

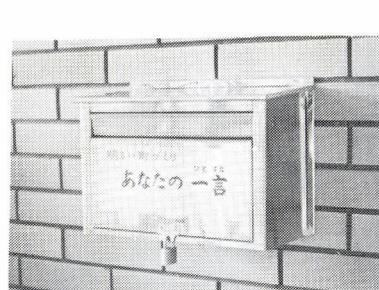
程度はこのようなボランティア活動を計画したい。」と話していました。

を纏な「アイデアブック」

町民ホールに提言箱を設置

“どんなささいなことでも結構です”町では行政事務を能率化して住民サービスの向上を図るため、このほど庁舎内の町民ホールに提言箱を設けました。町への注文や提案などを吸い上げ、建設的な意見は広報紙でも紹介もするといういわば現代版“目安箱”です。

町では毎週月曜日の朝礼後に課長以上の管理職が集まって、行政施策や事務改善について知恵をほっています。衆知を集めた方がいいアイデアも”というわけ。提言箱の近くに記載台が置かれ、筆記具と用紙が用意されています。町発展のための建設的な意見、農政や道路、実生活に密着した要望などなんでも思いのままご提言ください。



写真は町民ホールの提言箱

情などが投かんざされていると、実施できるものは担当課に回して即決をうながします。また、すぐに実施できないものは苦情処理簿に記入、機会あるごとにチェック、検討を繰り返し、指導や改善を図っていくことにしています。

税金は社会共通の“経費”です

11月11日から17日まで

「税を知る週間」

「より安定した豊かな生活を」というわたしたちの願いを実現するため、税金は、社会福祉をはじめ、道路や下水道の整備、住宅対策、教育など、いろいろな分野に使われています。

税金は、国や地方公共団体が活

動するための大切な財源です。わたしたちが生活の向上と安定を願う限り、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえましよう。

このように重要な役割を果たしている税金について、納税者の方

だけでなく、広く町民の皆さんに税を正しく理解し認識していただくよう、今年も十一月十一日から十七日まで、「税を知る週間」が行われます。

県でも、みなさんに、税を身近かなものとして考え、税の意義や

役割を正しく認識して、税務行政への理解と信頼を深めていただくため、同機関を「私達の県税を知る週間」としてテレビ、ラジオによる広報活動や県事務所に税務相談室を設け、県税に関する相談に応じます。

この機会に、わたしたちの納めた税金がどのように使われ、どのような形で生活の向上と安定に役立っているのか―など、税についての理解を深めたいものです。